

地方都市視察報告書

オリンピック・パラリンピック・文化観光等特別委員会

1 実施日

平成28年11月1日（火）

2 視察地 愛知県名古屋市

【市の概要】

(1) 面積 326.45 km²

(2) 人口・世帯数（平成28年9月1日現在）

人口 2,304,546人

世帯数 1,071,593世帯

(3) 関ヶ原の戦いで天下の実権を握った徳川家康が、海陸の連絡に便利な那古野台地に築城工事を始めたのは、慶長15年(1610)のことである。これに伴って清洲の士民が移り住み(清洲越し)、市街地ができあがった。以来、徳川御三家筆頭の城下町として尾張藩の中心となり、江戸・大坂・京につぐ発展をみた。

明治4年(1871)に行われた廃藩置県で、新政府は名古屋県(翌5年に愛知県と改称)を置き、管内を6大区に分けて名古屋と熱田を第1大区とした。その後、明治11年(1878)、名古屋区として初めて独立行政区となり、明治22年(1889)10月1日の市制施行で、名古屋市は人口約15万7,000人、面積約13.3平方キロメートルでスタートした。

明治・大正から昭和の初頭には経済界の活況に伴い、商工業都市として順調な発展を続け、昭和12年(1937)に名古屋汎太平洋平和博覧会を開くに至った。しかし、この年に日中戦争がぼつ発、以降、戦時非常体制一色へ……。太平洋戦争により当時の市域の約4分の1を焼失した。

戦後、いち早く復興都市計画事業に着手。100m道路の建設、平和公園への墓地移転などの大事業を行い、今日の基盤が確立された。

しかし、復興と急成長が進む中、昭和34年(1959)伊勢湾台風の襲来を受け、死者1,800人余、被災世帯13万人に及ぶ被害を受けた。この大災害は、その後の街づくり、『無災害都市』への示唆を与えた。

誕生から今日に至るまでに近隣の市町村の編入などもあり、現在では市域326.44平方キロメートル、人口約230万人の規模となっている。

3 視察項目・内容

観光振興及び観光協会の取り組みについて

4 視察参加者

【委員】

えのき 秀 隆副委員長、三 沢 ひで子委員、井下田 栄 一委員、



佐藤佳一委員、桑原羊平委員、平間しのぶ委員、
志田雄一郎委員、あざみ民栄委員、有馬としろう委員、
宮坂俊文委員、雨宮武彦委員

【随行】

議会事務局議事係 氏家あふゆ 唐澤一彰

5 視察結果・所感

観光施策及び観光協会の取り組みにおいて視察を行った。

観光戦略ビジョンに関して説明を受けた。名古屋の魅力を創出するために様々な事業が展開されており、説明内容は今後の新宿区の観光施策を展開していく上で大いに参考になったと言える。以下視察結果、所感を簡条書きに記す。

- ① 観光案内所の取り組みについては新宿区においても12月10日に開会式典を行う予定である。名古屋市の観光案内所の開設の背景には、外国人を含む観光客の増加がある。それに合わせ観光案内所を増設し対応するとのことである。新宿においても初めての観光案内所を設置する事になるが、今後も外国人観光客が増加する傾向は継続すると思われる。しっかりとおもてなしの富んだ案内所を運営できるように研究を進めていかなければならない。今後の新宿区の案内所を開設するにあたり、先進事例として、示唆に富む説明内容であった。
- ② 電話通訳で外国人観光客をサポートする事業の説明を受けた。5か国語で24時間365日の対応を行うという事で、ホテルのみならず観光に関連する事業者が参加しているとの事であった。我が区においても研究、検討していくべきであると考ええる。
- ③ 名古屋市の観光ビジョンにおいては、名古屋市の持つ特徴や潜在能力をよく調べ上げ、分析に基づいて、名古屋らしい魅力の創出に努力をされていた。又、観光プロモーションの推進や、おもてなしの充実なども取り組みの実績として大いに参考になるものであった。ビジョンについては取り組みに対しての検証も行われ、事業を行った結果どのような効果があったのか、評価などもなされていた。評価としては市の認知度の低さ、メディアの活用不足、行政と観光事業者とのコミュニケーション不足などが挙げられていたが、いずれも、新宿区において観光施策を行っていく上で重要な視点であると考ええる。

6 主な質疑項目

- (1) 宿泊客と日帰り客の現状と今後の観光客を増加させるための取り組みについて
- (2) 電話通訳サービスを24時間・365日対応可能とする対応方法について
- (3) 名古屋観光コンベンションビューローの「ナゴヤ魅力向上室長」がテレビ局プロデューサーから転身した経緯について
- (4) 電話通訳サービスの利用状況と今後の課題について
- (5) 観光案内所の設備と利用状況について

- (6) なごや観光ルートバス「メーグル」による観光客の回遊性の向上について
- (7) 民泊に関する現状と特徴的なことについて

7 その他

【共同視察者】

文化観光課長 橋本 隆

新宿観光振興協会担当課長 菊地 加奈江

